

KUMASOU

訪問リハビリコラム

9月号



発行/2021年9月 発行者/関野航嘉 作業療法士 担当:物忘れ外来・訪問リハビリ

認知症の前段階といわれている軽度認知障害(MCI)について、皆さんはご存じでしょうか？



軽度認知障害(MCI)とは？

正常の老化と認知症の間の状態と呼ばれています。症状は記憶障害だけでなく様々な認知機能の障害(集中できない、上手く手順を踏んで物事を行うことができない、相手の感情が分からないなども症状の一つです。)、家事や薬の管理、請求書の支払いなどの複雑な日常生活動作に支障が出るといったことが挙げられます。

人数はどれくらい？

2012年の厚生労働省の報告によると、総人口約1億2000万人に対して、MCIの方は約400万人いるとされています。30人に1人と考えると、どうでしょうか。意外と多いなと思いませんか？(ちなみに単純計算すると熊谷市の人口は約19万人ですので、MCIの方は約6300人という計算になります。)

認知症の前段階ってことは、必ず認知症になってしまう病気なの？

結論から言ってしまうと、必ずしも認知症になるとは限りません。Ritchieらによると、改善する方は14~44%と幅が大きく、逆に認知症と診断される方は年間約10%とされています。そのため、早期に専門機関への受診・治療を開始し、リハビリ、生活習慣の改善などを行っていくことにより、改善する可能性があります。

リハビリで改善するの？

改善する可能性は十分にあると思われます。先行研究において、認知機能の改善、日常生活自立度の改善、行動・心理症状(BPSD)の改善、うつ症状の改善、生活の質の向上、介護者負担感の軽減という効果が見込まれております。

行動・心理症状(BPSD)とは？

焦りを感じている、興奮しやすい、怒りっぽい、妄想、幻覚がみえる、うつ、不安そうにしている、何に対しても無感情など

当院『脳リハ』の紹介

日時:毎週木曜 14:00~15:00

内容:患者さん同士での会話、机上での認知機能訓練、頭と体を動かすコグニサイズ、趣味活動(歌唱など)

※脳リハへ参加するには、物忘れ外来の受診が必要です。

不安に感じている方・ご家族の方、是非一緒にリハビリに取り組んでみませんか？スタッフ一同、全力で支援させていただきます！

